

なかよし情報210723:世界中で読まれ続ける40年前のベストセラー

2021. 7. 23 教育文化研究所 長阿彌幹生 wrote.

昨年からコロナの影響で外出すること、特に繁華街などの街中へ行くことを自粛しています。おかげで今のところコロナウイルスへの感染は防げています。また、予防のためのワクチン接種も来週には2回目を終える予定です。

自粛して家の中に籠りっ放しでは健康に良くないので、以前から取り組んでいる天拝山登山を、さらに強化しました。おかげで、今年はずでに150回ほど登っています。体調もとても良く、体重も目標とする標準体重の「身長-体重=110」のレベルに近づいています。

そして、今日はなんと！記念すべき1800回登頂記念を迎えました。“石の上にも三年”といいますが、“山の上にも十三年”となり、登り始めて十三年目の達成です。今年はやがてのペースなので、11月中旬に1900回記念登頂が出来るような勢いです。



さて、皆さんいかがお過ごしですか？今月も拙い文章ですが、私からのメッセージ『なかよし情報』をお送りします。お時間があればお読み下さい。

★写真は天拝山山頂展望台にて宝満山をバックに記念撮影したものです。（7月23日撮影）

■■■■■■■■ なかよし情報210723:世界中で読まれ続ける40年前のベストセラー ■■■■■■■■

女優の黒柳徹子さんが著した「窓ぎわのトットちゃん」が今年で出版40周年を迎えます。800万部を超える戦後最大級のベストセラーになりました。中国語、英語、韓国語など21ヶ国の言語に翻訳され、内外合わせると2300万部を超え、今でも世界中で読み続けられています。

ユニセフ(国際連合児童基金)から1985年に「第1回ユニセフこども生存賞」、2000年に「第1回ユニセフ子どものためのリーダーシップ賞」を受賞。そしてユニセフ親善大使として世界中の子どもたちのために活動を続けています。

私は不登校の当事者の支援活動を20年以上にわたり続けていますが、この「窓ぎわのトットちゃん」からも、親が或いは教師が、大人が子どもとどのように向き合うのかについて多くのものを学んでいます。

今日はその中から心に残る、そしてこれからの私の生き方の指針として大切にしたい文章を紹介したいと思います。もし、興味をお持ちになったならば、是非、実際に『窓ぎわのトットちゃん』を手にとって、最初から読んで頂ければと思います。

この本が皆さんを幸せな世界へと導いてくれることを祈っています。

■『窓ぎわのトットちゃん』抜粋

Page216:

トットちゃんに関しては、苦情や心配の声、生徒や父兄や、他の先生たちから、校長先生の耳にとどいてるに違いなかった。だから校長先生は、トットちゃんに、機会あるごとに、「君は、本当は、いい子なんだよ」と言った。その言葉を、もし、よく気を付けて大人が聞けば、この「本当は」に、とても大きな意味があるのに、気が付いたはずだった。「いい子じゃないと、君は、人に思われているところが、いろいろあるけれど、君の本当の性格は悪くなくて、いいところがあって、校長先生には、それが、よくわかっているんだよ」。

校長の小林先生は、こう、トットちゃんに伝えたかったに違いなかった。残念だけど、トットちゃんが、この本当の意味がわかったのは、何十年も、経ってからのことだった。でも、本当の意味は、わからなくても、トットちゃんの心の中に、「私は、いい子なんだ」という自信をつけてくれたのは、事実だった。だって、いつも、なにかをやる時、この先生の言葉を思い出していたんだから。ただ、やったあとで、「あれ？」と思うことは、ときどき、あったんだけど。

そして、トットちゃんの一生を決定したのかも知れないくらい、大切な、この言葉を、トットちゃんが、トモエにいる間じゅう、小林先生は、言い続けてくれたのだ。「トットちゃん、君は、本当は、いい子なんだよ」って。